

せとうち田園都市の創造を目指して

1. はじめに

多島美を誇る瀬戸内海や緑豊かな山並みなど自然に恵まれ、温暖な気候のもとで、古くから開けてきた香川県は、四国と本州を結ぶ海上交通の要衝に位置していることから、行政や流通・経済など、さまざまな分野で四国の中枢として発展してきました。

また、全国で最小の面積ながらも県土の半分が讃岐平野という特性から、沿岸部を中心に開けた都市と、それを取り巻く農山漁村とが密接な連携をもった生活圏を形成しています。

讃岐平野の北側に広がる瀬戸内海は、県土より広く、その海の幸が香川の豊かさにも貢献しています。こうした独自の居住環境を背景に、本県ではこれまで、島々を含め県全体を田園都市と見立て、都市の持つ「活力や利便性」と田園の持つ「ゆとりやすらぎ」を兼ね備えた地域としての魅力の向上に努めてきました。

しかし、本県は、現在、高齢化の進行や人口減少をはじめ、医療や介護の需要増加、地域力の低下、平成20年の秋以降の世界的な景気後退に伴う経済・雇用環境の悪化、さらには、平成23年3月に発生した東日本大震災を踏まえた安全・安心対策の見直し、安定した水資源の確保など、様々な課題を抱えています。

このため、新たな香川づくりに向けて、平成23年10月に今後5年間の県政運営の基本方針となる「せとうち田園都市香川創造プラン」を策定し、「せ

とうち田園都市の創造」を基本目標に、「元気の出る香川づくり」、「安心できる香川づくり」、「夢と希望あふれる香川づくり」を3つの柱として、社会資本の整備など各種施策に全力で取り組んでいます。

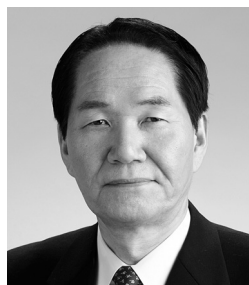
2. 拠点機能の強化

本県では、高松空港へのアクセス性を高めるため、高松西インターチェンジと高松空港間を結ぶ空港連絡道路の供用が急がれており、ことでん琴平線や国道32号等との部分立体高架工事などの整備を進めています。また、高松港朝日地区では、船舶の大型化に対応するため、昨年3月に、水深12mの大型耐震岸壁の供用を開始しました。引き続き、荷役能力の向上のため、ガントリークレーンの整備を今年度末の完成に向けて推進するなど、国際物流ターミナルの整備を進めてまいります。また、サンポート高松における交通結節機能の強化を図るため、高松市と連携し、高速バス乗降場の移転や送迎用駐車場の拡充など高松駅南交通広場の整備を進めてまいります。

3. 安全・安心の確保

本県では、近い将来、発生が懸念されている南海トラフ巨大地震や直下型地震について、「香川県地震・津波被害想定（第一次公表）」として、詳細な震度分布・津波高、浸水域・深さ、液状化などの予測図を独自にとりまとめ、3月末に公表

香川県知事 **はま だ けい ぞう**
浜 田 恵 造



しました。今後、本県の地域特性を踏まえた人的・物的被害などの推計を夏ごろまでにとりまとめ、防災・減災対策を着実に推進してまいります。併せて、道路橋梁や下水道施設等公共施設の耐震化の促進や民間住宅の耐震対策への支援などについても、引き続き積極的に実施してまいります。

さらに、「津波・高潮対策整備推進アクションプログラム」に基づき、防潮壁等の整備を推進するとともに、南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた津波対策について、新たな実施方針や整備計画を策定し、優先度に応じて具体的な対策を講じてまいります。

加えて、「香川の活力と県民生活を支える水資源の確保」を図るため、引き続きダム事業やため池の整備に取り組むとともに、安全で良質な水を安定的に供給するため、水道施設の更新や耐震化を積極的に推進しています。

また、本県では人口10万人当たりの交通事故死者数が2年連続で全国最多となったことから、通学路等の緊急整備や交差点改良、自転車歩行者道の整備などに積極的に取り組んでいます。

4. 公共土木施設の長寿命化

本県においても、高度経済成長期に建設された多くの公共土木施設の老朽化が懸念されています。今後、更新や補修の時期が集中してくることから、計画的・効率的な維持管理を行うことにより施設の長寿命化を図り、更新や補修費用の平準化を行

うことを目的に、平成20年に「香川県公共土木施設アセットマネジメント基本方針」を策定しました。この方針に沿って、道路橋梁や水門などの河川管理施設、港湾施設、海岸保全施設、下水道施設、県営住宅など、各公共土木施設について長寿命化計画を策定し、必要な対応を計画的に実施しています。

5. おわりに

本県では、観光立県香川の実現をめざし、全国的に話題を呼んでいる「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクトを推進しています。インパクトのある映像を制作し、香川県公式観光サイト「うどん県旅ネット」をはじめインターネットや交通広告、全国雑誌など多様な媒体を活用することにより、うどんだけではない香川の魅力を全国に情報発信しています。

特に、アートの分野では、瀬戸内海に浮かぶ12の島々などを舞台に、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2013」を開催しています。2回目となる今回は、春、夏、秋の3シーズンに分けて、エリアも拡大して開催します。夏会期は、7月20日から始まりますので、皆様にはぜひ足をお運びいただき、この場所でしか生み出すことのできないアート作品の数々に触れながら、香川の魅力をご堪能ください。